

丈夫がいいね

1523

「PCR法」は遺伝子を人工的に増殖させ、構成パターンを解析する手法である。これが実用化されれば、検査費用は総額2万円程度に抑えられる。結果判明までの時間もDNAチップが70時間以上かかるのに対し、約4時間と大幅に短縮される。



DNAチップ①

第40部 検査を 知ろう

公立松任石川中央病院総合健診センター（白山市）は、「DNAチップ」を使った「マイクロアレイ血液検査」をいち早く導入した医療機関の一つだ。昨年8月に検査を受け付けてから1年になるが、これまでの検査件数は8件にとどまっている。体の負担が少なく、9割以上の精度で胃・大腸・膵臓、胆道の4種の消化器がんの有無が判定できる画期的な検査としては、利

検査に用いるDNAチップと試薬が4万円弱。それに、運送費や人件費などもかかる。マイクロアレイ血液検査のメリットの一つは、手軽に受けられる点にある。しかし、こ

現在は3千種の遺伝物質RNA（リボ核酸）を載せたDNAチップに患者の血液から取り出したRNAを接触させ、反応を見ることでがん細胞の有無を判定しているが、新たな検査

普及阻む「費用6、7万円」

次世代の手法を開発へ

用があまりに少ない。ネックとなっているのは検査費用だ。「当病院では6万円かかります。値段を聞いて断念する人もいます」と長野亨同センター長は話す。

だ。検査を運用する金大発のバイオベンチャー企業「キュービクス」（金沢市）の丹野博社長によると、北陸で6〜7万円台、東京では12万円以上かかる病院もあるという。内訳は

の価格では「誰でも手軽に」とは言えない。そこで、マイクロアレイ血液検査を開発した金大の金子周一教授の研究グループは同社と共に、新たな検査法の研究を進めている。

検査法では、DNAチップ自体が不要となる。この手法は、解析するRNAを数十から100種程度に絞り込み、従来の遺伝子研究に用いられてきた「PCR法」で判定する。

検診を受けなかった人も受診してもらえるのではないかと期待する。

◇「丈夫がいいね」第1〜38部発売中。お問い合わせは北國新聞社出版局 076（2660）35587

◇「丈夫がいいね」は毎週水、木、金曜日に掲載します。